

平成21年度 第1回 真田地域協議会 会議次第

平成21年4月22日(木) 午後7時

真田地域自治センター 301会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 真田地域自治センター長あいさつ

4 協議会委員の変更について(報告) 自己紹介

5 会議事項

(1) 平成21年度 真田地域自治センターの重点目標について [資料-1]

(2) 平成20年度グループ別協議のまとめについて [資料-2]

(3) 今後の地域協議会の進め方について

・全体協議

(テーマ案:まちづくり活動拠点 等について)

・グループ別協議

(テーマ案:まちづくり方針の具体化について)

(4) その他

(平成20年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告)

6 その他

第2回開催予定について

平成21年5月27日(水)(午後6時~真田地域の市議会議員との懇談会)

7 閉 会

平成21年度 真田地域自治センターの課題・目標一覧表

区分		実施項目	対象	いつまでに	どの水準まで
地域振興課	1	真田有線放送電話事業のあり方の検討	真田有線放送電話	年度末	(1) 真田地区有線放送電話審議会からの答申を21年度中にいただけるよう、20年度に引き続き、審議会を5回程度開催しあり方の検討を進める。 (2) 答申後は、答申内容を尊重し、市としての方針の検討を進める。
	2	菅平地域の情報通信基盤整備の構築	菅平地域	22年度	菅平地域の情報通信基盤を平成21年度事業で構築する運びとなったことから、情報推進課及び、(株)上田ケーブルビジョンと連携して、実施設計及び工事内容等の調整を図り、平成22年度からテレビ放送及び高速通信サービスが提供できるよう事業を進める。また、多くの方に加入していただくよう地元自治会等と協力して加入促進に努める。
	3	地域協議会活動の支援とまちづくり方針の具体化の検討	真田地域協議会	年度末	(1) 地域協議会の調査研究活動を支援するとともに、地域住民の意見や要望を反映できるよう運営を支援する。また、協議会の活動状況について、自治センターだよりなどで、積極的に発信する。 (2) 地域特性を生かした魅力ある住みやすいまちづくりを進めるため、地域協議会と連携し、上田市総合計画に定められた「地域まちづくり方針」の具体化を検討する。
市民生活課	1	現金収納業務の円滑な実施	真田地域住民・来庁者	通年	平成20年度末をもって市税等の収納窓口を担ってきた農協の派出が廃止になり、市税等の収納窓口及びセンター内の公金の取り扱いを市民生活課で取り扱うことになった。市民が円滑に市税(水道料金等を含む。)を納入し、これら徴収金とセンター内の公金が財務規則等に基づき確実かつ円滑に処理されるよう、組織を構築するとともに日々正確・迅速に処理していく。
	2	窓口業務	市民・来庁者	通年	来庁者へのさわやかなあいさつを心がける。 またすることなく迅速・丁寧な対応を行う。 取り扱う窓口業務が多様多様になるため、マニュアル等を活用し、市民とのトラブルが無いよう適切な対応に努める。
	3	ワンストップサービス業務	真田地域住民・来庁者	通年	4月から行政手続きの市民満足度を高める取組として窓口業務のワンストップサービスが実施されることになった。これにより市民生活課で新たに健康福祉課、教育事務所及び上下水道局の申請業務等の11項目について併せて対応することになった。課内の体制を整え、課員は対応事務マニュアルに基づき、スムーズな対応と市民が利用しやすい窓口業務の実現を図る。
健康福祉課	1	特定健診等の受信率向上	国保被保険者等	年度末	国保被保険者に対して特定健診受診の必要性についての啓蒙及び未受診者への受診干渉を行ない受診率の目標を41%に設定する。 さらに特定健診等の受診率の向上を目指すため、真田地域の未実施医療機関の事業実施に向け小県医師会と協議する。 また、特定保健指導が効果的に行えるよう指導計画を策定して検査値の改善に努め、特定保健指導実施率を36%に設定する。
	2	災害時要援護者登録制度の推進	民生児童委員	年度末	今年度真田地域において防災訓練が予定されている。 「災害時ひとりも見逃さない運動」に向け、昨年スタートした要援護者登録制度を真田地域においても推進し、住民支え合いの心の醸成を図る。 モデル自治会の選定と登録の推進 自治会・社会福祉協議会との連携 地域とのかかわり
	3	配食サービス事業の統一化	対象者全員	年度末	当該事業について、住民の不公平感の軽減や国の方針からホテルコストを利用者に求めるため、4地域それぞれ独自で行っている事業内容の内、配食頻度と利用者負担について、統一を図る。 また、統一を図ると同時に、利用者や居宅介護支援事業所等に対し、趣旨を十分に説明し、支援計画などを見直しを促し、混乱が最小限度となるよう配慮する。
産業観光課	1	国際スポーツリゾート「信州菅平高原」確立に向けたビジョンの策定	菅平高原	年度末	信州菅平高原観光ビジョン(仮称)を策定し、菅平高原自然体験館(仮称)及び付帯施設の基本計画を策定します。 また、菅平高原の国際化に向けた観光資源の検討を進めます。
	2	遊休荒廃地の復元及び流動化の促進	真田地域農振農用地	年度末	遊休荒廃地水田を優良農用地として復元するとともに、遊休荒廃地化の歯止めをするため、農地保有合理化事業等を活用し、担い手への集積を図る。 農業委員会、営農活性化委員会及び農地保有合理化法人であるJA信州上田と協同で事業を実施する。 目標面積:0.5ha
	3	上田市菅平高原スポーツランド10周年記念事業	利用者・市民・観光客	平成21年10月31日	菅平高原スポーツランドの開業10周年を記念して、記念講演・ランニング教室・記念試合などのイベントを実施します。 民間活力を導入するため、菅平高原観光協会を中心に実行委員会を組織して運営にあたります。

建設課	1	市道・河川整備の促進	地域内全域	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり委員会等からの要望事業については、箇所ごとに現地調査を行い、緊急性と公平性を考慮して実施箇所を決定し、施工する。 ・大沢川の改修工事を実施する。
	2	辺地対策事業の促進	菅平高原地域	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・辺地総合整備計画に基づき、以下の市道整備を実施する。 燕線：一部工事の着工、用地買収の促進 原野地2号線：用地測量の実施および一部用地買収
	3	地籍調査の促進	対象地域	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・長地区の地籍調査を進める。 長11区(0.06km²)：平成21年8月までに認証終了。 長12区(0.06km²)：平成21年12月までに閲覧を完了し、年度内に認証申請をする。 長13区(0.06km²)：一筆立会は平成21年11月までに終了。 ・菅平地区は、実施方針計画を立案し、調査実施の可否を検討する。
消防課	1	分団拠点施設の整備方針の協議	上田市消防団・第七方面隊	年度末	<ul style="list-style-type: none"> 組織再編による分団拠点施設(分団詰所)にていて、菅平・長・傍陽・本原分団を構成する自治会と整備方針を協議する。 ・分団詰所の場所選定 ・分団へ配置する車両及び配置場所の検討 ・分団詰所整備後における、既存資機材庫(車庫)・警鐘楼の管理方法について
	2	消防水利・機械力の整備	消防水利・機械力の整備	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の水利施設の設置状況を考慮し、防火水槽及び消火栓の新設、更新を行い消防水利の充足率の向上を図る。 ・消火栓付属器具一式(器具箱・ホース・管鎗・開閉器)の整備を行い、整備後の維持管理を自治会に移管する。
	3	火災予防対策と救命率の向上	地域住民	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅火災で発生する死傷者を減少させるため、住宅用火災警報器の設置を推進する。 (いきいきサロン、防火訪問、各種講習会における広報等の実施) ・住民や各種団体への応急手当講習会の実施を行い、救命率の向上を図る。
上下水道課	1	収納率等の改善	上下水道使用料	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・料金使用料で経営している企業であることを認識し、現年度収納率の向上と経費節減に努める。 ・現年度収納率：98.9% ・新規加入者口座振替率：80%
	2	安心、安全、おいしい水の安定供給	水道水の安全の維持	年度末	<ul style="list-style-type: none"> 蛇口から安心して飲めるおいしい水の供給 ・残留塩素の適正な管理 ・赤井浄水場チェックフィルター修繕 ・フェンス修繕 断水等起こさない安定した供給 ・新たな水源の確保 ・配水管布設 真田：100 L=325m ・老朽管の布設替え 真田：280m 菅平：320m
	3	快適な生活環境	水洗化率の向上	年度末	<ul style="list-style-type: none"> ・水洗化戸数の増：20戸 ・不明水調査 ・流入水質の調査、指導
地域教育事務所	1	特色ある真田図書館建設の推進	地域住民	年度末	<ul style="list-style-type: none"> 図書館建設場所、規模等も決定したことから、建設場所である北庁舎の解体及び造成工事を8月までに竣工させるとともに、実施設計を早期に完了させ、本体工事費を9月議会に上程する。また、図書館基本構想に基づき、地域住民の意見を集約しながら地域の特色を生かした個性ある図書館建設を行う。運営については、真田図書館建設運営研究会を中心に、市民協働による組織体制を3月末目標に確立する。
	2	青少年健全育成推進と公民学級の充実	真田地域住民	年度末	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成の体制強化と事業推進を図る。また、生涯学習の推進を行うため、幅広い年齢層を対象とした公民館学級の充実を図る。
	3	食育の推進	児童生徒、保護者	年度末	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒、保護者への食育指導と衛生管理の充実を図る。また、学校保健委員会等組織も活用し、食と生活習慣の重要性を幅広く啓発し定着させる。

平成 20 年度 真田地域協議会グループ協議内容

(文末の 数字はグループ協議実施月)

結婚対策

グループ1

- ・少子化問題とも関連した結婚問題について。対象となる者の意識、意欲の分析。
- ・現状の問題点の洗い出しと対策案の提起。
- ・結婚問題となると出席をしない現状がある。
- ・結婚を「成立」まで持っていくのが難しい。
- ・結婚する事を嫌がる。 近所の例・離婚の例
- ・対策として結婚相談員に具体例を聞く。相談員の成功までの例が少ないが原因は掴めているのか。
- ・男女共同参画と同じように、行政が積極的にに関わり、立案・援助する。
- ・なぜこのことにテーマを絞ったか、再度聞きただし確認する必要がある。
- ・配付資料「真田地域の未婚者の状況」はすごい内容である。
- ・黄色の線(総人口)の 20 歳 ~ 24 歳 495 人に対し 55 歳 ~ 59 歳 884 人と倍近い。

グループ2

- ・未婚者による単独での介護問題。

グループ3

- ・未婚者についての具体的な資料はあるか。(地区別、自治会など)

事務局回答:市の業務として未婚者対策などは行っておらず、リストなどありません。社会福祉協議会では、結婚相談希望者を受け付けておりそのリストによると市内全域での登録者は男性 185 人、女性 80 人が登録されています。個人を特定する内容は一覧表では記載が無い
ため地区別分類はされていません。

- ・農協の相談所の状況、出身高校ごとの相談所の状況を調査したい。
- ・中沢委員から、結婚対策について収集した資料の説明があった。

社協が実施する結婚相談の紹介と実態

JAの結婚相談事業の紹介

高砂殿の事業紹介

- ・JAより、行政の協力が欲しいとの話しがあった旨の報告。
- ・清水潤委員から、長野西校が行っている事業について紹介あり。
- ・中沢座長より、相談所の利用結果などについて補綴の説明あり。
- ・長野西高校の(結婚相談所の)実態について説明あり。結婚率が高いようだ。関連して上田染谷丘高校の場合についても説明あり。いずれも対象は卒業生に限ってはいない。
- ・ある程度年齢のいっている未婚者などは本人の意思がどうなっているのかまで考える必要があるのではないか。
- ・(相談所の)登録者を増やす事、相談事業者のネットワーク化が必要。ただし個人情報面への配慮が必要。
- ・次の 3 点を実施したらどうか。行政が仲立ちをする。

JA 相談所と社協相談所のネットワーク化。

広域連合との連携。

広報を十分に行う。

- ・都会から人を呼ぶ方法についての紹介あり。それと結婚相談を連携できないか。
- ・中沢委員より、広域連合による FM 放送を利用した取り組みの紹介あり。
- ・長野西校の取り組みについて、実態の紹介があった。情報量が多いことが有利に働いている。
- ・社協、JA、広域連合、三者の連携の可能性について。
- ・社協、JA ともに男女交流の場のイベント開催を切望していることがわかった。そこで資金、会場等で上田広域連合に協賛を求めて打開できないかとのことで調査することとした。
- ・広域連合によるイベントは平成15年以降、ふるさと市町村圏基金の運用利子収入による事業の一環として取り組んだが

イベントの企画運営を FM 長野に任せきりであった

そのことについて広域連合として追跡調査ができなかった

市町村間で、取り組みに対する温度差があるなどの意見により、平成19年度からイベントは休止している。しかし、必要な事業で有効な方策があれば検討する。

- ・これからの対応策として次のとおり。

イ. ふるさと市町村圏基金の活用については可能性があることを確認した。

ロ. 事務については広域連合に求めないことが前提。

ハ. 上記の2点の上に立って、上田社協、青木村、東御市、長和町との打ち合わせを行う必要がある。

ニ. よって地域振興課とも連携して上記関係市町村と接触し部会として取り組む。

空き家対策

グループ1

- ・どのような空き家が多いかの現状把握。
- ・空き家に新たに人を住ませるためにはどうしたらよいか。
- ・行政でやるべきことはどのようなことか。
- ・空き家について、住んでいる人の年齢別・家族構成別での調査分析
- ・菅平はペンションが空き家になっている。(売れない)・・・古びてしまっていて住めない、など。
- ・老人世帯の本人死亡後の問題。
- ・トイレが旧式。
- ・悪質な宗教団体など悪意を持った業者の警戒。
- ・都会の U ターン希望者にマンツーマンで相談にのる。特に、子供のいる世帯。
- ・自治センター内に担当係を作り空き家情報を流す。・・・探しても情報が無い(過去)。
- ・生活の援助・子供の学費や借地借家料の補助、免除。
- ・市の予算でリフォーム資金を出せないか。
- ・空き家、結婚問題を上田市全体の問題として取り上げられるよう、担当の課や係を作るべきである。

グループ2

- ・傍陽地区では未婚の男女が多い。また市内への流出が多く穴沢だけでも8軒の空き家がある。(横道も

同様に消防団の存続も危ぶまれる。)

- ・これだけの空き家があるのは驚きである。首都圏から、鉄道、高速道共に近く、田舎も満喫できる真田地区の立地的なニーズはかなりあると思われる。
- ・近隣では、飯山市などが行政を上げて、都会からの移住・定住を推進しているが、そこまで取り組む必要はまだないと思われるし、現状では無理である。
- ・家が使えるかどうかの見極めと分類・登録はぜひ行政が進めるべきである。行政を仲立ちとする安心感は、提供したい人にも探している人にも大変ありがたいと思う。具体的なことは当事者に任せる。
- ・個人所有か業者の所有かはいろいろだと思うが、最初の窓口は一本化するべき。個人情報の厳しい中、情報は極々最低限のことで良いのではないかと。使えそうで、借り手を捜している家の持ち主の連絡先程度。
- ・新しい人が入ることでの地域の活性化はいろいろの例を聞く限りとても可能性がある。大変良いことであるので、広域ではなく、真田という地域で小回りの利く取り組みを具体的に、すぐ・ぜひ始めてもらいたい。
- ・欲張らずに基本情報を行政が流す。これだけでも十分である。行政がやることの意義は大きい。

図書館整備

グループ1

- ・次回、11月ごろの設計計画案と建設費見積もりを期待。
- ・負担過多にならぬよう。人件費等

グループ2

- ・図書館問題で「意見書」が反映された事例は重要である。決定権は無くても、このように行政に再考・再検討を促す住民サイドの会であることが重要で、この点を強化していただきたい。
- ・市との、三者懇談会に出た委員から図書館についての市の見解の報告があり。真田の図書館を最優先するとの確認をもらえているとの事。
- ・図書館に関しては、早期の準備、住民への周知が重要である。運営方法その他具体的なことを、出来てからではなく、どんどん知らせて動いていくべきである。

グループ3

- ・新図書館完成後の運営組織についての検討

都市計画

グループ1

- ・母袋市長が(真田地域の住民と)向き合う。
- ・合併協定書の1項、上田市と丸子町(真田と武石を除き)H18年より進めた線のまま、都市計画マスタープランを投げてきた。

グループ2

- ・都市計画の区域指定、都市計画税の問題は早急に取り上げるべき。
- ・都市計画と税の問題で、地域の声が高まる中、協議会は何をしているのだと言われている。

- ・行政の発想とスケジュールで動く会では、地域住民の期待に応えられるか不安である。真田地域にとっては大きな問題であるので、協議会のあり方が問われる。
- ・早急な課題である都市計画の問題と細かな地域課題を平行してグループ討議していく。そのなかで地域協議会のあり方は常に考えるべき課題である。
- ・都市計画区域設定への今後の進展について注意していく必要あり。

グループ3

- ・都市計画税についてフリートーキング実施。
- ・部落別の説明会が必要。

観光

グループ1

- ・菅平の観光の(あり方)分析と脚光を浴びよう(外国も考えて) 下方の地域全体で応援したい。

グループ2

- ・スキー場の苦境についての報告。千本桜が地元宿泊に繋がらない。日帰りが多いなどの問題の中、観光業の広域協力体制が必要。
- ・菅平の観光業の特色を、真田地域全体に理解してもらう必要がある。一般の観光客を対象とした上田市内の他の観光地とは違う。スポーツランドという特徴への理解を求めていく事が今後の自然館建設に向けては必要。
- ・増えている登山客、温泉利用客についての報告。
- ・ほとんど利用されていない公園キャンプ場、信綱寺の公園など町の中の施設の無駄、再利用について。(図書館も二の舞にならない様、出来てからの運営がとにかく重要。)

地域協議会

グループ1

- ・地域協議会の会議テーマ選出・討議内容・次回への継続などが良く理解できない状態で進められている面がある。
- ・協議会で取り組む具体的項目・リストがあり、その中から「これ」という選択をして、問題 原因 対策 実施(要はP・D・C・Aをまわす)
- ・今までの協議結果を元に分類し討議を行う。問題(意見) 原因 対策 実施まで、誰、がいつまで、何を、どうする、まで。全体討議する日を協議会で設ける。
- ・「全体討議」で、前回までの1～3グループの意見をどうするのか。
- ・事務局は地域を具体的にどうしようとしているのか見えない。

グループ2

- ・住民のための協議会であるべきなのに、行政のお膳立てで進んでいる。
- ・他の審議会も行政側の最終機関という印象で、民意が反映されていないと感じる。あて職、あるいは1期任期では無理がある。継続性と責任を考えると問題がある。
- ・市議も参加し、タイアップしていければ住民と行政の間の協議会の役割が深まる。

- ・定例協議会の「残りの時間」では足りない。時間外でもいいので設定を願う。
- ・協議テーマは事務局から提示されたが、都市計画と区域指定・都市計画税の問題は切迫しているので早急に取り上げてもらいたい。また具体的な地域課題も平行して考えていきたい。
- ・新市となり模索しながらの協議会であるが、あり方を良く考えて進めないと住民の期待とは裏腹の会になってしまう。新市は何事につけても「協議会で検討」という表現をするので、住民の期待が大きくなる。住民のための協議会でなくてはならないのに、これでは行政のお膳立てだけで進む会である。
- ・審議会などを傍聴して感じるが、行政側の最終機関という印象で住民の意向が反映されているとは思えない。合併後のせっかくの地域協議会という組織がそれと同じではいけない。
- ・あて職とか、1期とかの任期内ではそもそも無理がある。継続性と責任を考えると問題がある。
- ・今年初めて参加したが、協議会の役割については期待したイメージと違って残念。住民の意見が行政に反映される仕組みとなると議員もその一員に加わるのが望ましいと感じる。議員がオブザーバーとして参加し、議会とタイアップしていけば住民と行政の間の協議会の役割は深まる。
- ・早急な課題である都市計画の問題と細かな地域課題を平行してグループ討議していく。そのなかで地域協議会のあり方は常に考えるべき課題である。
- ・グループ協議は、「残り時間の討議」ではとても足りないの、時間外としてぜひ設定して欲しい。
- ・地域住民の多様な声を行政に反映し、住民が主体となるまちづくりを推進する機関としての委員の役割を認識してはいるが、十分に発揮できない。
- ・市からの諮問に応じての審議が主である。

地域住民の意見や要望を集約して、そのことのみを中心に討議する時間を設定して欲しい。

- ・委員の任期……各種団体の代表としての委員は1年で交代してしまう。このことは問題であり、充て職にならないように、是非継続して2年の任期を務められるような方法で進めていただきたい。
- ・地域協議会が市の諮問機関になってはまずい。提案し、私たちの声を届ける姿勢が必要。
- ・協議会委員の構成について、広く意見を集めるためには団体から推薦される人数は別枠にするなど、バランスを考えていくべきでは。
- ・協議会の役割・機能は本来、行政の提案を確認するだけのものではないはず。提言、問題の掘り起こしをすることが役割では。
- ・行政からの提案ではなく、テーマを挙げていくようではなくてはいけない。
- ・協議会の中で、元議員の方の役割は大きい。以前からの流れを承知している。
- ・協議会に決定権は無いわけだが、町内から広く意見を聴取できる人材を人選すべき。行政の用意したことを確認するだけの印象が強い。
- ・若い委員の数が少ないので入れるべき。
- ・意見を言う委員がどこに行っても同じにならないように若い委員を混ぜていく。
- ・地域の具体的な提言や苦情を吸い取る立場として協議会は期待されている面もある。最近具体的な話を寄せられた。PTA関係者から、合併前には出ていた中学の定期演奏会への移動のバス代が個人負担となったことは納得がいかない。社協の建物(福祉センター)の掃除が行き届いておらず、手入れも悪い。
- ・グループ協議のあり方として本会でやれることをグループ協議で話す必要はない。
- ・グループ協議の時間は本当なら別枠の時間で考えなければ話の広がりが出てこない。
- ・西部地域協議会の分科会が活発な活動をしているようだ。

グループ3

- ・全般でフリートーキング実施し、合併により負担が増加したものは何か、もう少し掘り下げてみる。

その他

グループ1

- ・上田市の財務諸表(一般市民に理解できる形式(を期待……))と、真田地域自治センターのものと比較できるもので、(いつの日か)早く発表、説明を期待する。
- ・長野病院(外科、内科、産婦人科……等)継続して医療の話しを取り扱い項目としたい。
- ・年金制度 = 負担する側に無理多大だ。
- ・子育て、少子(家庭内)、逆ピラミッド。少子化対策を重点に優先して取り組むよう要望
- ・菅平の小学校は1クラス5人くらい。教師は10人に1人くらい。
- ・小中が一貫(一環)での教育地域だが免許制度で困難を伴う。
- ・真田地域にもオレンジバスやデマンドバスの運行。高校生の通学や高齢者の通院など。(持ち寄り基金の活用)
- ・地域医療について、長野病院を軸に分野を絞って検討を行う。(小児科、産婦人科)
- ・介護の問題についてだが、包括部分で手足の運動を生き生きサロンでやっていることもある。
- ・選挙・投票所について、投票所の見直しは経費の面から見るとやむをえないだろう。高齢者が投票に行くことが難しくなり、投票率の低下につながる。
- ・振興会を作ろうという動きが地域的にはある。

グループ2

- ・行政の発想とスケジュールで動く会では、住民の期待に応えられない。
- ・ふれあいさなだ館の運営方法について疑問。
- ・他地域より格段に良い施設ばかりの真田地域自治センターの議場などの有効利用・活性化は大切なテーマである。
- ・空き家対策と未婚問題について、具体的に進めることに地域振興基金を充当しても良いのでは。

グループ3

- ・手つかずの災害復旧(後沢林道の、2~3年前の大雨による被災)

20 年度 真田地域 わがまち魅力アップ応援事業 一覧表

(単位:円)

自治会名	代表者	事業名	実施場所	事業内容	年目	既補助額	当初申請金額	交付決定額	交付確定額	来年度以降申請見込額			
										21年度	22年度	23年度	24年度
個性あるふるさとづくり事業													
1	菅平区	区長 鈴木 正人	ダボスの丘 遊歩道整備事業	菅平高原 ダボスの丘	「日本のダボス」とその美しさを絶賛され、菅平高原を代表する景勝の地である「ダボスの丘」に、区民の手で菅平高原のシンボルとして相応しい遊歩道を整備することにより、地域の一体感の醸成を図るとともに、高原の緑を守り、区民のやすらぎの場を確保する。また、遊歩道を活用したトレッキングイベント等を開催し、菅平高原の魅力を広域に発信する。	1	1,500,000	1,500,000	1,500,000				
2	傍陽中組区	区長 山崎正寛	自然と文化の地域資源を活かした 活気あふれる集落づくり事業	傍陽中組地区	集落内の里山の荒地を解消するため遊歩道の整備を進め、作業参加により集落の一体感の醸成を図る。また、遊歩道を利用したイベントを開催することにより地域内交流を深め、活気にあふれ世代を問わず一体感のある集落づくりを行う。	1	300,000	300,000	300,000	400,000	500,000	200,000	100,000
小計					2件	0	1,800,000	1,800,000	1,800,000	400,000	500,000	200,000	100,000
特色あるまちづくり事業													
1	らいてうの家 運営委員会	米田 佐代子	あずまや高原を憩いの広場に育てる 事業	らいてうの家 を中心とする あずまや高原 一帯	「らいてうの家」及びその周辺を会場に各種イベントを開催し、良質な文化と自然を楽しむ機会を提供することを通して、あずまや高原のよさをPRする。	1	549,000	549,000	549,000	451,000			
2	遊歩道整備実 行委員会	下条利一	滝と森林浴の遊歩道整備	菅平高原	年齢を問わず誰もが気軽に菅平高原の豊かな自然環境に親しみながら、快適に散策を楽しめる遊歩道を整備する。整備後には、こころと身体の健康づくりに活かすとともに、ウォーキングイベント等を開催し、地域の新たな魅力づくりを行う。	1	350,000	350,000	350,000	650,000			
3	菅平高原ス キークラブ	竹村幸則	アルプスを眺めながら のんびりクロスカントリー	菅平高原 根子岳中腹	根子岳中腹を会場に、初心者から楽しめるクロスカントリーイベントを開催し、冬山での自然とふれあう機会を提供することとおして、冬の菅平高原の魅力を発信する。	1	500,000	350,000	350,000	650,000			
小計					3件	0	1,399,000	1,249,000	1,249,000	1,751,000	0	0	0
合 計					5件	0	3,199,000	3,049,000	3,049,000	2,151,000	500,000	200,000	100,000